

CSRガイドライン



日進工業株式会社

日進工業(株)の基本理念

I : 「品質」と「コスト」で顧客の満足を得る

II : 「どのような苦境下でも
力強く存続し続ける事ができる
魅力的な日進工業」を目指す



日進工業(株)のCSRガイドライン

日進工業(株)グループは、よき企業市民として社会との調和ある成長を目指します。そして、先進的な技術開発と高品質なモノづくりを通じて社会へ貢献していきます。

【 マネジメント姿勢 】

①人間性を尊重する職場づくり

会社を信頼して働ける環境を整え、人材育成を促進する風土を醸成していきます。

②現地現物に徹したモノづくり

モノづくりでは現地現物、すなわち現場を徹底的に観察し事実の背景にある真因を発見する姿勢が基本的に重要です。当社では、本質を見極め、改善活動による決断と全力で実行することが大切だと考え、人材教育に日々力を注いでおります。

③改善活動の継続

当社は常に「進化」、「革新」を追及し、絶え間なく改善に取り組むことが重要だと考えます。

④双方向コミュニケーション

事業の持続性を可能にする為には、各所属員の成長が不可欠と言えます。

個々の成長が無ければ、社内・部署内連携（報・連・相による双方向コミュニケーション）を強固に推し進める体制基盤が構築できない為、まずは所属員同士がしっかり協働できる職場環境づくりに努めます。

【 製品・サービスの提供 】

①安 全

モノづくりは、人が担い手であり、安全で健康な職場環境が整ってこそ良い品質のものができます。

その為、安心して業務遂行が出来る職場環境づくりに努めてまいります。

②品質

「品質の向上なくして企業の成長なし」と言われています。モノづくり企業として、立ち上がり品質においては、悪いものが造れない・流さない自己完結型の工程造りを構築し、号口品質においては工程内不具合の問題点の視える化と、問題点対策へのスピーディーな取組みを行います。

③納入・生産

当社は、「必要なものを、必要なときに、必要なだけ」生産しています。

これに伴い、生産準備・生産・納入の各段階で、柔軟かつ確実な対応を心掛け、納期厳守に努めます。

④原 価

技術開発・生産技術の革新に努めるとともに、不断の原価低減活動を推進してまいります。

⑤技 術

環境・安全・快適の3つの分野でカーメーカー様における技術の重要性が増しています。

これらの社会・地球環境からの要請とともに、エンドユーザーの希望、取引先企業様のニーズを的確に把握し、他に先駆けて具現化する努力を進めます。

【 製品・サービスの課程 】

①コンプライアンス

・原則として、下記に示すコンプライアンスに違反する事案・行為、に関しては全て就業規則第4章「服務規律」第31条「服務心得」・第46条、第47条内容に該当する事となり、厳罰対処と看做しております。

※金融や経済に関する事案

- ・商法に関連した違反
- ・証券取引関連法違反(インサイダー取引など)
- ・脱税に関する事案

※商取引などに関する事案

- ・贈収賄や談合などの事案
- ・独占禁止法違反

※財産権などに関する事案(社内含む)

- ・横領・背任に関する事案
- ・知的所有権侵害(著作権法、特許法などの違反)

※環境などに関する事案

- ・産業廃棄物の不法処理 (廃棄物処理法違反)
- ・公害への不適切な対応

【類型別】

※刑法

【1】窃盗罪・業務上横領罪、【2】業務妨害罪、【3】詐欺罪、【4】背任罪、
【5】毀棄罪、【6】強制わいせつ罪、【7】コンピュータ犯罪

※商法

【1】特別背任罪、【2】とく職罪 他

<法令等の遵守>

- 企業活動に関わる法令、官公庁ガイドライン、社会良識等を積極的に遵守します。
- 法令等を遵守するためにコンプライアンスの実践に必要な体制、教育などの仕組みを構築・整備し、また定期的にその有効性を確認します。

＜機密情報の管理＞

- 機密情報を十分に注意を払って取り扱い、またそのために必要な機密情報管理の仕組みを構築します。
- 外部から得られた機密情報は、自社の機密情報と同様に十分に注意を払って取り扱うとともにその目的の範囲内で使用します。

- 個人情報情報は、法令等の定めのある方法に従って正しく収集し、厳格に管理するとともに適正な範囲内で利用します。
- サイバー攻撃対策として、関連会社サンアドバンスをセキュリティー管理者として各種デジタルデバイスにおける悪意のある第三者からの攻撃に対応する体制を敷いております。又、これに伴うサーバー内のバックアップ頻度を高め有事の際に備えています。

<知的財産権の尊重>

- 技術・製品の開発にあたっては、他社の特許権等、知的財産権を不用意に侵害しないよう事前に十分な調査を行います。
- 他社の意匠権・商標権・著作権(ソフトウェア等を含む)などを無断使用、不正複写しません。

<自由な競争・公正な取引>

- 競業相手とはフェアな競争に努め、私的独占、不当な取引制限など自由な競争を妨げる行為を行いません。
- 仕入先に対しては公正かつ公平な立場で取引を行い、仕入先に対して不当な要求をしません。

<安全保障輸出管理>

- 海外に製品、技術等を輸出する場合は、輸出管理に関連する法令をよく理解し遵守します。

<政党・官公庁との透明性のある関係>

- ・ 政党、官公庁との間は公正かつ透明性のある関係とし、法令から逸脱した政治献金・寄付を行わない。

②人権の保護・労働条件の整備

<良好な人間関係の維持>

- ・ 人種・宗教・国籍・信条・性別・年齢・身体障害・傷病などを理由とした差別的な取扱を行わない。

<児童労働の禁止>

- 各国、地域の法令による就労可能年齢に達しない児童の労働は認めません。

<強制労働の禁止>

- 全ての労働は自発的であること、及び社員が自由に離職できることを確実に保証し、強制労働は行いません。

<賃 金>

- 最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金その他給与等に関する各国・地域の法令を遵守しています。

<適正な労働時間管理>

- 労働に関わる法令・諸規則を遵守し、従業員の労働時間を適正に管理します。

<結社の自由>

- 従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を、各国該当法令に基づいて認めます。

<安全・健康な職場づくり>

- 従業員の職務上の安全・健康の確保を最優先とし、事故・災害の未然防止に努めてまいります。

③環境への取組み

＜環境マネジメント＞

- ISO14001:2015認証取得企業として、幅広い環境活動を推進するため、各国・地域の法令を遵守するとともに全社的な管理の仕組みを構築して、継続的な運用・改善を図ってまいります。

＜温室効果ガスの排出削減＞

- 地球温暖化防止に貢献する為、事業活動での温室効果ガスの排出管理を行い、削減活動を推進しています。又、エネルギーの有効活用にも取り組んでまいります。

＜大気・水・土壌等の環境汚染防止＞

- 大気、水、土壌等の汚染防止に関する各国・地域の法令を遵守するとともに、継続的な監視と汚染物質の削減を行い、環境汚染を防止しています。

＜省資源・廃棄物削減＞

- 廃棄物の適正処理・リサイクル等に関する各国・地域の法令を遵守するとともに、資源の有効活用を通じて廃棄物最終処分量の削減に取り組んでいます。

<化学物質管理>

- 環境汚染の可能性がある化学物質の安全な管理を行なっています。
- 製品については、各国・地域の法令で禁止された化学物質を、当該国・地域において含有していません。
- 製造過程において禁止された化学物質は使用せず、各国・地域の法令で指定された化学物質に関しては、法令に基づき排出量の把握・行政への報告を行います。

④企業活動を通じた社会への貢献

＜責任ある資源・原材料調達＞

- 人権・環境等の社会問題を引き起こす原因となりうる原材料の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行い、懸念のある場合には、使用回避に向けた施策を行ないます。

＜社会貢献活動＞

- 社会の発展のため社会貢献活動を推進し、社会から信頼される企業を目指して、社員ともども地域社会の活動に積極的に参加します。

＜適時・適切な情報開示＞

- ステークホルダーが必要とする情報を正確・タイムリーかつ公正に公開し、地域社会とも良好なコミュニケーションを促進します。

⑤リスクマネジメント

＜事業継続計画の策定・運用＞

- 災害、事故に対応した早期復旧のための事業継続計画（BCP）を策定・運用しています。
- サイバーテロや感染症によるパンデミック等を含めた危機管理体制の構築を図ります。

当社は、上記の趣旨を踏まえたCSRの取組みの普及・推進に努めます。

普及・推進にあたっては、サプライチェーンの全体を意識してこれを行い、また、必要に応じたフォロー・是正対応を行い、社会貢献企業として日々精進してまいります。

